

# 令和6年度決算審査抽出事業 調査報告書

(文教厚生分科会 No.2)

(所属課, 事業コード) 事業名	(社会教育課, 5155) 放課後児童健全育成事業 ※P. 32	
予算額	令和6年度決算額	268,119千円
	令和7年度決算見込額	264,152千円
	令和8年度当初予算(案)	288,043千円
<p><b>【決算審査における検討点, 争点】</b>                  (令和6年度決算審査での提言等)                  令和7年度に試験的に行った長期休暇中の昼食の提供などについては, 今後アンケート結果などをもとに, 更なる実施方法等について一歩進めた検討をしていただきたい。また今後, 利用料金の改定などを検討するのであれば, 近隣地域の現状や動向等を調査し, 国が想定している地方自治体分の負担割合にこだわることなく, 丁寧に利用者との協議も重ねることが必要である。そして, 更なる保護者の方々の安心面の向上などに努めていただくためには, 放課後児童クラブに協力いただいている支援員等の賃金改善についても, 契約時に考慮することが必要と考える。今後の更なる事業の充実等を期待して分科会評価は「拡充」とする。</p> <p><b>【当初予算の反映状況】</b>                  (決算評価がどう当初予算へ生かされたか)                  児童数が減る中ではあるが, 賃上げや処遇改善のための予算が確保されており, 決算時の評価が反映されていると考える。また, 令和7年度から試験的に行っている長期休暇時の昼食提供については, おかずのみの提供や電子注文とするなど, 児童が食べやすく, 保護者・支援員の負担感なく, 納入業者にとっても継続しやすい方法を検討しており評価できる。</p> <p><b>【調査結果】</b>                  (総括)                  長期休暇時の昼食提供については, 当初のお弁当のみならず, ご飯は家庭から持参することとし, おかずだけ提供する形も追加することで価格を抑えるなどの工夫もされ, 予算を使用せずに利用者の利便性向上が図られており評価できる。今後も創意工夫をしながら一部だけではなく全体へ普及できるよう更に検討されたい。また, 利用料の改定については, 引き続き慎重に検討すべき。</p> 引き続き, 単なる「預かれば良い」というサービスではなく, 教育的価値も更に付加できるよう頑張っていたいただきたい。		